

平成 27 年度

(平成 27 年 4 月 1 日より平成 28 年 3 月 31 日まで)

# 事業報告

公益財団法人 高松宮妃癌研究基金

東京都港区高輪一丁目14番15号102

# 目次

第1章 概況	1
第2章 事業の状況	
1. 研究助成金の贈呈	1
2. 高松宮妃癌研究基金学術賞の贈呈	1
3-1.高松宮妃癌研究基金・国際シンポジウムの開催	1
3-2.国際シンポジウム開催の助成	2
4. 国際講演会の開催	3
5. AACR 高松宮妃記念講演会開催の助成	3
6. 機関誌「CANCER」の発刊	4
第3章 管理事項	
1. 会議等に関する事項	
(1) 平成27年度第1回理事会 (通常)	5
(2) 平成27年度第1回評議員会 (定時)	5
(3) 平成27年度第2回理事会 (臨時)	5
(4) 平成27年度第1回学術委員会	6
(5) 平成27年度第3回理事会 (臨時)	6
(6) 平成27年度第4回理事会 (通常)	7
(7) 平成27年度第2回評議員会 (臨時)	7
(8) 平成27年度第5回理事会 (臨時)	7
(9) 平成27年度第3回評議員会 (臨時)	8
2. 内閣府公益認定等委員会への報告、申請等に関する事項	8
3. 内閣府からの連絡事項	8
第4章 附属明細書	
表1 平成27年度研究助成金受領者名簿	9
表2 平成27年度高松宮妃癌研究基金学術賞受賞者名簿	12

## 第1章 概況

当事業年度は、平成20年12月に新公益法人制度がスタートしてから7年が経過し、現在の制度下で公益認定された公益法人数は9,400を超える規模となった。ただ、公益認定等委員会から、法人の不適切な運営により公益認定を取り消されるケースも発生し、公益法人の規模、存在意義が大きくなる一方でこれまで以上に公益事業への真摯な取り組みが必要とされつつある。

このような状況下、公益財団法人化後6期目を迎えた当財団では、公益事業の一層の推進を図るべく、昨年度より開始した国際シンポジウムに対する助成事業や、昨年度から拡大した研究助成金事業の規模を、維持継続するとともに、その他の各事業も事業計画に沿って進められ、ほぼ当初計画どおり順調に事業を終了した。

これらの事業に関する収支は、収入面で、寄附金の受入が前事業年度を上回ったものの、当事業年度における金利低下等が金融資産運用に影響を与え、当財団の経常収益の大半を占める金融資産運用益が減少し、最終的な経常収益は、比較的好調であった前事業年度を大きく下回る実績となった。

一方経常費用については、前事業年度同様の規模で公益事業を推進したが、国際シンポジウム等で事業費が前事業年度比減少し、経常費用総額としては前事業年度を下回る実績となったが、最終的には経常収益の減少が経常費用の減少を上回り、当事業年度の当期経常増減額は3,827千円の赤字(前事業年度18,476千円の黒字)となった。

## 第2章 事業の状況

### 1. 研究助成金の贈呈（定款第4条第1項第1号）（公益目的事業1）

当事業年度の応募件数は179件であり、この中から30件が採択された。受領者の氏名、研究題目等は、第5章表1に記載のとおりである。

選考は平成27年12月11日開催の学術委員会において行なわれ、平成27年12月18日、理事会の承認を得た。

贈呈式は、平成28年2月19日、総裁常陸宮殿下及び同妃両殿下ご臨席の下、パレスホテル東京（東京都千代田区）において挙行了した。

### 2. 高松宮妃癌研究基金学術賞の贈呈（定款第4条第1項第2号）（公益目的事業2）

当事業年度の推薦件数は7件7名であり、この中から2件2名が選考された。受賞者の氏名、研究業績等は、第5章表2に記載のとおりである。

学術委員会における受賞者の選考、理事会の承認及び贈呈式は、上記1.の研究助成金と併せて行われた。

### 3-1. 高松宮妃癌研究基金・国際シンポジウムの開催

（定款第4条第1項第3号、第4号）（公益目的事業3）

第46回高松宮妃癌研究基金・国際シンポジウムを次のとおり開催した。

### (1) シンポジウム

主 題： がんのメタボロミクス—発がん、がん生物のよりよき理解と斬新な  
診断、治療法開発への新しい糸口

会 期： 平成 27 年 11 月 17 日（火）～19 日（木）

会 場： パレスホテル東京（東京都千代田区）

組織委員長： 江角 浩安 博士 東京理科大学 生命医科学研究所教授

組 織 委 員： Dr. Tak W. Mak Director, The Campbell Family Institute  
For Breast Cancer Research at Princess  
Margaret Cancer Centre, Canada

末松 誠 博士 慶應義塾大学 客員教授

曾我 朋義 博士 慶應義塾大学 先端生命科学研究所教授

森 正樹 博士 大阪大学 大学院教授

招待演者： 海外 19 名（アメリカ 12 名、イギリス 4 名、  
オーストラリア、カナダ、スウェーデン各 1 名）

国内 10 名

討 論 者： 250 名

### (2) 中原記念講演賞

本シンポジウムの特別セッションにおいて、第 12 回中原記念講演が行なわれた。  
講演終了後、講演者に対し、記念の盾と副賞 50 万円が贈呈された。

講 演 者： Dr. Lewis C. Cantley  
アメリカ、ワイルコーネル医科大学、サンドラ・エドワード・  
メイヤーがんセンター所長

演 題： PI キナーゼとがん代謝

### (3) 記録集の発刊

本シンポジウムの記録集を次のとおり発行した。

書 名： “Extended Abstracts for the 46th International Symposium of the  
Princess Takamatsu Cancer Research Fund”

発 行 日： 平成 28 年 3 月 22 日

発 行 部 数： 520 部

## 3-2. 国際シンポジウム開催の助成（定款第 4 条第 1 項第 3 号、第 4 号） （公益目的事業 3）

下記の各学会で実施された国際シンポジウムに対し 1 件当たり 5 百万円の助成を実施した。

- (1) 第 13 回日本臨床腫瘍学会学術集会における International Symposium  
開催日：平成 27 年 7 月 16 日～18 日  
場 所：ロイトン札幌

(2) 第74回日本癌学会学術総会における JCA-AACR Joint Symposia

開催日：平成27年10月8日～10日

場 所：名古屋国際会議場

(3) 第53回日本癌治療学会学術集会における International Symposium

開催日：平成27年10月29日～31日

場 所：国立京都国際会館

#### 4. 国際講演会の開催（定款第4条第1項第3号、第4号）（公益目的事業4）

第35回国際講演会を次のとおり開催した。第1回講演会に先立ち、表彰式が執り行われ、高山理事長より講演者に対し、盾が授与された。

講演者：Dr. Rakesh K. Jain

マサチューセッツ総合病院 E. L. Steel 研究室所長

滞在期間：平成28年2月11日（木）～22日（月） 12日間

演 題：がん治療を向上させるために腫瘍内微小環境を再構築する一実験台からベッドサイドへ

受入責任者：江角 浩安 博士 東京理科大学 生命医科学研究所教授

開催地及び：東京/国立がん研究センター 江角 浩安 博士

開催責任者 仙台/東北大学 佐藤 靖史 博士

京都/京都大学 戸井 雅和 博士

日 程：2月11日（木） 成田空港着

2月12日（金） 第1回講演（国立がん研究センター）

2月15日（月） 第2回講演（東北大学）

2月19日（金） 第3回講演（京都大学）

2月22日（月） 成田空港発

#### 5. AACR 高松宮妃記念講演会開催の助成（定款第4条第1項第3号、第4号） （公益目的事業5）

米国癌学会（AACR）の2015年度総会において、第9回 AACR 高松宮妃記念講演が行われた。講演者の選定は、選考委員会において行われ、関谷剛男博士（当財団学術委員会副委員長）が日本側選考委員として参画した。

講演者：Dr. Lewis C. Cantley

アメリカ、ワイルコーネル医科大学、サンドラ・エドワード・メイヤーがんセンター所長

演 題：がん治療標的としてのPI3K

日 時：平成27年4月20日（月）

開催場所：米国・フィラデルフィア・コンベンションセンター

講演に先立ち、関谷博士から故高松宮妃殿下の世界のがん研究に対する長年にわたるご支援並びに当財団の沿革・事業内容について説明があり、講演終了後、Dr. Cantley に対し記念の盾及び副賞 1 万ドルを贈呈した。

**6. 機関誌「CANCER」の発刊（定款第 4 条第 1 項第 5 号）**

平成 27 年度（第 46 巻）機関誌 CANCER を次のとおり発刊した。

発行日：平成 27 年 7 月 25 日

発行部数：700 部

## 第3章 管理事項

### 1. 会議等に関する事項

(1) 平成27年度第1回理事会（通常）

開催日：平成27年6月5日（金）

開催場所：パレスホテル東京（東京都千代田区丸の内1-1-1）

出席者：理事10名（総数10名）

顧問2名（総数2名）

議案：平成26年度事業報告及び決算について

審議結果：提案された1件の議案につき、審議の結果、異議なく承認可決された。

報告事項：理事長及び常務理事より、定款第33条第4項に基づき、職務執行状況につき報告が行われた。

(2) 平成27年度第1回評議員会（定時）

開催方法：報告の省略の方法

報告事項：平成26年度事業報告及び決算について（平成27年6月5日通知）

通知結果：理事が、評議員会に報告すべき上記報告事項について評議員の全員に通知し、同事項を評議員会に報告を要しないことについて、書面により評議員14人全員から同意の意思表示を得たことから、定款第28条の規定により、同事項について、評議員会への報告があったものとみなされた。

評議員会への報告があったものとみなされた日：平成27年6月22日

(3) 平成27年度第2回理事会（臨時）

開催日：平成27年12月4日（金）

開催場所：ホテルグランドパレス（東京都千代田区飯田橋1-1-1）

出席者：理事10名（総数10名）、監事1名（総数2名）

顧問2名（総数2名）

議案：① 平成28年度の主要事業について

② 平成27年度第2回評議員会（臨時）の開催について

③ マイナンバー制度開始に伴う特定個人情報取扱規則の制定について

審議結果：提案された3件の議案につき、審議の結果、いずれも異議なく承認可決された。

報告事項：理事長及び常務理事より、定款第33条第4項に基づき、職務執行状況につき報告が行われた。

(4) 平成 27 年度第 1 回学術委員会

開催日：平成 27 年 12 月 11 日（金）

開催場所：パレスホテル東京（東京都千代田区丸の内 1-1-1）

出席者：学術委員 10 名（総数 10 名）

理事長、常務理事

- 議案：① 平成 27 年度研究助成金受領候補者の審査、選考について  
② 平成 27 年度学術賞候補者の審査、選考について  
③ 平成 28 年度（第 36 回）国際講演会の講演者決定について  
④ 平成 28 年度（第 13 回）中原記念講演賞受賞者の選考について  
⑤ 平成 29 年度（第 48 回）高松宮妃癌研究基金・国際シンポジウムの組織委員長の審査、選考について

- 審議結果：① 179 名の申請者の内、第 5 章表 1 に記載の 30 名が選考された。  
② 7 件 7 名の候補者の内、第 5 章表 2 に記載の 2 名が選考された。  
③ 10 名の候補者の中から、Dr. Tak W. Mak（カナダ・プリンセスマーガレットがんセンター キャンベルファミリー乳がん研究所 所長）を講演者に決定した。  
④ 第 47 回国際シンポジウム組織委員長・森正樹教授から推薦のあった Dr. Irving L. Weissman（米国：スタンフォード大学 教授）が受賞者に選考された。  
⑤ 3 名の応募者の中から、国立がん研究センター研究所・中釜斉所長を組織委員長として選考した。

(5) 平成 27 年度第 3 回理事会（臨時）

開催方法：決議の省略の方法（平成 27 年 12 月 14 日提案書発送）

提案事項：平成 27 年度学術委員会決定事項の承認について

- ① 平成 27 年度研究助成金受領者の決定について  
② 平成 27 年度学術賞受賞者の決定について  
③ 平成 28 年度（第 36 回）国際講演会の講演者決定について  
④ 平成 28 年度（第 13 回）中原記念講演賞受賞者の決定について  
⑤ 平成 29 年度（第 48 回）高松宮妃癌研究基金・国際シンポジウムの組織委員長の決定について

提案結果：理事が、理事会の目的である上記事項につき理事及び監事の全員に提案し、同提案につき、書面により、理事 10 名全員から同意の意思表示を、また監事 2 名全員から異議がない旨の意思表示を得たので、定款第 46 条第 3 項の規定に基づき、理事会の決議があったものとみなされた。

理事会の決議があったものとみなされた日：平成 27 年 12 月 18 日



(6) 平成 27 年度第 4 回理事会（通常）

開催日：平成 28 年 3 月 11 日（金）

開催場所：パレスホテル東京（東京都千代田区丸の内 1-1-1）

出席者：理事 10 名（総数 10 名）、監事 2 名（総数 2 名）

顧問 2 名（総数 2 名）

- 議案：① UICC 日本委員会が開催する国際シンポジウム助成について  
② 「AACR 高松宮妃記念講演会開催の助成」事業の継続について  
③ 次期学術委員の選任について  
④ 顧問の選任（再任）について  
⑤ 平成 28 年度事業計画書  
⑥ 平成 28 年度収支予算書  
⑦ 平成 28 年度資金調達及び設備投資の見込みについて

審議結果：提案された 7 件の議案につき、審議の結果、いずれも異議なく承認可決された。

(7) 平成 27 年度第 2 回評議員会（臨時）

開催日：平成 28 年 3 月 11 日（金）

開催場所：パレスホテル東京（東京都千代田区丸の内 1-1-1）

出席者：評議員 12 名（総数 14 名）

理事長 常務理事

- 議案：① 平成 28 年度事業計画書  
② 平成 28 年度収支予算書  
③ 平成 28 年度資金調達及び設備投資の見込みについて

審議結果：提案された 3 件の議案につき、審議の結果、いずれも異議なく承認可決された。

(8) 平成 27 年度第 5 回理事会（臨時）

開催方法：決議の省略の方法（平成 28 年 3 月 15 日提案書発送）

提案事項：平成 27 年度第 3 回評議員会（臨時）の開催（書面）について

提案結果：理事が、理事会の目的である上記事項につき理事及び監事の全員に提案し、同提案につき、書面により、理事 10 名全員から同意の意思表示を、また監事 2 名全員から異議がない旨の意思表示を得たので、定款第 46 条第 3 項の規定に基づき、同提案を可決する旨の理事会の決議があったものとみなされた。

理事会の決議があったものとみなされた日：平成 28 年 3 月 22 日

(9) 平成 27 年度第 3 回評議員会（臨時）

開催方法：決議の省略の方法（平成 28 年 3 月 23 日提案書発送）

提案事項：定款の一部（第 16 条第 2 項第 3 号）変更について

提案結果：理事が、評議員会の目的である上記事項につき評議員全員に提案し、同提案につき、書面により、評議員 14 名全員から同意の意思表示を得たので、定款第 27 条の規定に基づき、同提案を可決する旨の評議員会の決議があったものとみなされた。

評議員会の決議があったものとみなされた日：平成 28 年 3 月 29 日

## 2. 内閣府公益認定等委員会への報告、申請等に関する事項

- |                       |                    |
|-----------------------|--------------------|
| (1) 平成 26 年度事業報告等の提出  | (平成 27 年 6 月 25 日) |
| (2) 平成 28 年度事業計画書等の提出 | (平成 28 年 3 月 25 日) |
| (3) 定款変更届の提出          | (平成 28 年 3 月 31 日) |

## 3. 内閣府からの連絡事項

- |  |                     |
|--|---------------------|
| (1) 「ゆう活（夏の生活スタイル変革）に関する取組について（周知）                                 | (平成 27 年 5 月 21 日)  |
| (2) 2015 年度夏季の節電に関するご協力のお願い(依頼)                                    | (平成 27 年 6 月 3 日)   |
| (3) テーマ別セミナー「公益法人の役員等の役割と責任」<br>の開催(平成 27 年 7 月 21 日開催)について        | (平成 27 年 7 月 8 日)   |
| (4) テーマ別セミナー「マイナンバーガイドライン（事業者編）の概要」<br>の開催(平成 27 年 9 月 7 日開催)について  | (平成 27 年 8 月 20 日)  |
| (5) 公益法人の制度会計についてのアンケート実施について                                      | (平成 27 年 9 月 7 日)   |
| (6) 法人番号の通知・公表スケジュールについて   | (平成 27 年 9 月 30 日)  |
| (7) 2015 年度冬季の節電に関する御協力のお願い(依頼)                                    | (平成 27 年 11 月 25 日) |
| (8) テーマ別セミナー「公益法人の会計に関する研究会報告書について」<br>の開催(平成 28 年 1 月 20 日開催)について | (平成 28 年 1 月 8 日)   |

## 第4章 附属明細書

表1 平成27年度研究助成金受領者名簿

代表研究者氏名	所属・職	研究題目	金額
あぶらたに ひろゆき 油谷 浩幸	東京大学 先端科学技術研究センター 教授	エピゲノム制御と発がん機構 の解明	200万円
いしい げんいちろう 石井 源一郎	国立がん研究センター 先端医療開発センター 臨床腫瘍病理分野 ユニット長	がん関連線維芽細胞により誘 導される合成致死の分子機構 の解明	200万円
いしはら みや 石原 美弥	防衛医科大学校 医用工学講座 教授	がん微小環境研究のための微 小血管ネットワークを可視化 する in vivo 光音響イメージ ングの研究開発	200万円
いのはら ひでのり 猪原 秀典	大阪大学大学院 医学系研究科耳鼻咽喉科 教授	ヒトパピローマウイルス咽頭 感染の実態の解明ーヒトパ ピローマウイルス陽性中咽頭 癌の撲滅に向けてー	200万円
うい あやこ 宇井 彩子	聖マリアンナ医科大学 大学院研究科 講師	がん関連遺伝子ENL/MLL1と ポリコム遺伝子のユビキチ ン化を介した転写と染色体安 定性の制御とその異常	200万円
うえの ひろお 上野 博夫	関西医科大学 医学部 教授	多色細胞系譜追跡法によるが ん幹細胞モデルの検証と解析	200万円
えのもと まさと 榎本 将人	京都大学大学院 生命科学研究科 特定助教	Notchシグナルによる細胞 自律的・非自律的な腫瘍悪性 化機構の解析	200万円
おかだ ふとし 岡田 太	鳥取大学 医学部生命科学科 病態生化学分野 教授	炎症発がんにおけるドライバ ー遺伝子探索法の確立	200万円
きたがわ まさとし 北川 雅敏	浜松医科大学 医学部分子生物学講座 教授	肝がん細胞の運命を制御する 新規長鎖non-coding RNA	200万円
きたむら としお 北村 俊雄	東京大学医科学研究所 先端医療研究センター 細胞療法分野 教授	骨髄異形成症候群 (MDS) の白 血病化の分子機構の解析	200万円

代表研究者氏名	所 属 ・ 職	研 究 題 目	金 額
きどや ひろやす 木戸屋 浩康	大阪大学 微生物病研究所 助教	新規メカニズムによる腫瘍血管形成を制御するsFRP1シグナルの解析	200万円
こんどう ゆたか 近 藤 豊	名古屋市立大学大学院 医学研究科 遺伝子制御学 教授	成人T細胞白血病における抗CCR4抗体治療抵抗性獲得に関わるエピゲノム機構の解明	200万円
しま ひろし 島 礼	宮城県立がんセンター研究所 がん薬物療法研究部 部長	脱リン酸化酵素PP6のがん抑制作用の解析 ～25年目のミッシングピース～	200万円
たかはし たかし 高 橋 隆	名古屋大学大学院 医学系研究科分子腫瘍学分野 教授	肺腺がんにおいて受容体型チロシンキナーゼROR1が担う生存シグナル維持の分子機構	200万円
たかやま けんいち 高 山 賢一	東京大学医学部附属病院 老年病科 助教	長鎖非コードRNAを介するホルモン療法耐性前立腺がんの発生・増悪に関わる作用メカニズムの解明とその診断・治療への応用	200万円
たけかわ むつひろ 武 川 睦寛	東京大学医科学研究所 分子シグナル制御分野 教授	新規ERKシグナル誘導分子による発がんおよびがん悪性化機構の解明	200万円
ちくま まりこ 竹馬 真理子	京都大学 医学研究科 次世代免疫制御 を目指す創薬医学融合拠点 特定准教授	アクアポリン3が関与するがん悪性化機構の分子メカニズムの解明	200万円
つかもと ひろたけ 塚本(栗井) 博丈	熊本大学大学院 生命科学部 免疫識別学分野 助教	老齢個体の脂質代謝産物による慢性炎症惹起 機構の解明と、抗腫瘍T細胞免疫療法への応用	200万円
なか てつじ 仲 哲 治	医薬基盤・健康・栄養研究所 免疫シグナルプロジェクト シニアプロジェクトリーダー	サイトカインシグナル伝達抑制分子SOCS3を用いた悪性胸膜中皮腫に対する新規遺伝子治療法の開発	200万円
ながせ ひろき 永瀬 浩喜	千葉県がんセンター研究所 研究所長	薬剤の腫瘍ゲノムへの送達によるがんエピゲノム変更と治療法の探求	200万円

代表研究者氏名	所 属 ・ 職	研 究 題 目	金 額
なかや たけお 仲 矢 丈 雄	自治医科大学 病理学講座 人体病理学部門 講師	組織中の蛋白複合体解析に基づくKLFの大腸がんを維持・促進する病的蛋白間相互作用の解明とその選択的阻害によるがん幹細胞抑制治療の開発	200万円
なるしま せいこ 成 島 聖 子	理化学研究所 統合生命医科学研究センター 研究員	ノトバイオート技術を用いた大腸発がんに関わる腸内細菌の探索	200万円
にしかわ ひろよし 西 川 博 嘉	国立がん研究センター 先端医療開発センター 免疫TR分野 分野長	がん局所の免疫抑制機構克服による次世代がん免疫療法の開発	200万円
はまだ みちと 濱 田 理 人	筑波大学 医学医療系 解剖学・発生学研究室 助教	転写因子MafBによる腫瘍随伴マクロファージ数の制御による腫瘍悪性化の抑制	200万円
はらだ ひろし 原 田 浩	京都大学大学院 医学研究科 特定准教授	低酸素誘導性遺伝子とがん抑制遺伝子のクロストークによるがん悪性進展制御機構の解明	200万円
ひろあき ひでかず 廣 明 秀 一	名古屋大学大学院 創薬科学研究科構造分子 薬理学分野 教授	がん幹細胞を標的としたWntシグナル伝達系Dishevelled阻害剤の合理的探索	200万円
まつい ひろたか 松 井 啓 隆	熊本大学大学院 生命科学研究部臨床病態 解析学分野 教授	リボソームRNAプロセッシング異常という白血病発症の新しい概念の提示と検証	200万円
もとはし ほづみ 本 橋 ほづみ	東北大学加齢医学研究所 遺伝子発現制御分野 教授	NRF2依存を示す難治性がんにおける免疫感受性増強の試み	200万円
やすなが じゅんいちろう 安 永 純 一 朗	京都大学ウイルス研究所 講師	成人T細胞白血病発がん機構におけるHTLV-1 bZIP factorのRNAおよびタンパク質としての機能解析	200万円
よしだ きよつぐ 吉 田 清 嗣	東京慈恵会医科大学 生化学講座 教授	がん幹細胞の可塑性制御機構解明と治療への展開	200万円

(敬称略、五十音順)

表2 平成27年度高松宮妃癌研究基金学術賞受賞者名簿

氏名	所属・職	研究業績	賞金額
きたの 北野 せいごう 正剛	大分大学 学長	消化管がんに対する内視鏡 外科の根治性に関する多施 設共同研究	500万円
しもとおの 下遠野 くにただ 邦忠	国立国際医療研究センター 肝炎・免疫研究センター 特任部長	C型肝炎ウイルスによる肝 炎・肝がん発症の予防に向け た研究	500万円

(敬称略)